



華となれ!

宮城県仙台二華中学校
学校だより 第25号
【発行日】平成30年8月31日
【連絡先】022-296-8104
【文責】
副校長 阿部 一彦

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

【開講式】

27日間の夏季休業日が終わり、8月21日（火）に開講式が行われました。式辞の中で、山内校長先生から「充実した生活を送るため」として、次のようなお話がありました。（一部抜粋）

「与えられた時間には限りがあるが、その使い方は無限にある。毎日が一日限りであり、今を大切にすることが大事になる。そのために、①汗をかく（一生懸命努力する）、②恥をかく（初めてのことに、苦手なことに挑戦する。学校は失敗しながら成長するところ）、③ものを書く（自分の思考を文章にする）の3つを大切にしてほしい。勉強も部活動も、力を一番伸ばせる時期です。汗をかく。恥をかく。ものを書く。一人より二人、二人より三人、仲間と失敗を恐れずやってみよう。」



【校内マナーアップ運動】

8月22日～24日まで、二華中と二華高の校規委員による、今年度二回目の「校内マナーアップ運動」が行われました。挨拶の励行、自転車の駐輪マナーの向上、スマートフォンや携帯電話利用のマナー向上など、日常生活でのマナーアップについて自分たちで呼び掛けることで、生徒一人一人の自覚と基本的なマナーの定着を目指しています。

明るい挨拶ができる学校。一人一人がマナーを大切に、より良い生活を作り上げる学校として、更に輝いてほしいと思います。



【仙台市中総体駅伝大会 激励会】

8月22日に、仙台市駅伝大会の激励会がありました。駅伝選手は、夏休み中の猛暑の下、互いに声を掛け合いながら、自らの持ちタイムを少しでも縮めようと一生懸命に練習を続けてきました。

激励会の中で、男女それぞれのチームの代表から次のような決意表明がありました。

男子：昨年はずかしの差で県大会出場を果たすことができませんでした。今年はぜひ、県駅伝大会に出場できるように頑張りたいと思います。応援、よろしくお願いします。

女子：昨年は、女子駅伝部としては最高の結果を残すことができました。今年は昨年以上の成果を目指し、冬から練習を積み重ねてきました。その成果を発揮できるように頑張ります。

応援委員から「ぜひこれまでの練習の成果を発揮し、選手がベストを尽くせるよう、頑張ってください」という激励の言葉があり、その後、全校生徒でエールを送りました。



【科学の甲子園ジュニア宮城県予選大会】

8月25日に「科学の甲子園ジュニア」の宮城県予選大会が行われました。この大会では、1チーム3人で協力しながら筆記競技と実技競技に取り組みます。2つの競技の総合得点の高い、1位2位の合同チーム6人が県代表になります。今年は27チームの参加があり、二華中からも2年生4チームが出場しました。(競技内容は非公表)

午前に行われた筆記競技では、3年生で学習する内容も問われましたが、個人個人の知識と3人の知恵を結集させて頑張りました。午後の実技競技でも、指定されたものを素早く製作し、できる限り高得点がとれるよう、動作を何度も練習しました。緊張してしまい、練習のようにできず悔しい思いをしたチームもありましたが、二華中からは見事1位と3位に入賞することができました。

1位のチームの3人は、2位の大河原町立大河原中学校の3人と共に宮城県代表として12月7日～9日に茨城県つくば市で行われる全国大会へ出場します。事前課題も出題されるのでこれから準備が必要ですが、全国大会へ向けてさらにチーム力を高めて頑張してほしいと思います。



1位 Factorization チーム



3位 なぜ点Pは動くのか チーム